

5-2-2-10 平成24年 旧山田家・野原家・江向家 他
～「古民家の故郷を訪ねて～合掌造り（五箇山・白川郷）」

- ・ 期間 平成24（2012）年11月8日～10日
- ・ 参加者 42名（園職員2名含む）
- ・ 行程
 - 11月8日 名古屋駅集合⇒桂湖（旧山田家跡地）⇒岩瀬家（重文）・行徳寺
⇒ 国民宿舎 五箇山荘（宿泊）
 - 11月9日 五箇山荘⇒羽場家（重文）⇒流刑小屋⇒白山宮⇒村上家（重文）
⇒菅沼集落（五箇山民俗館・硝煙の館）⇒利賀村（野原家）
⇒相倉集落・合掌造り民宿（宿泊 分宿）
 - 11月10日 相倉合掌造り集落⇒旧江向家跡地⇒白川郷萩町
⇒名古屋駅解散
（五箇山の菅沼集落・相倉集落、白川郷の萩町集落は世界遺産である）

・ 研修の概要

（11月8日）

名古屋駅に集合後、途中の道の駅での昼食後、湖底に沈んだ旧山田家が所在していた桂湖のビジターセンターで西赤尾小学校桂分校の最後の先生 寺崎満雄さんより6軒の家族が1つの家族の様にお互いに助け合って生きてきた事 生活振りをお聴きしました。（又 助け合わないと生活が成り立たなかった事もあるようです）



桂湖ビジターでの寺崎先生の話



桂湖の虹と紅葉

- * 桂湖に到着時に真っ赤な紅葉が桂湖に映え、丁度、桂湖から近くの山に架かった素晴らしい虹の景色は3年近く経った今でも鮮やかに目に浮かびます。

岩瀬家 およそ300年前に8カ年の歳月をかけて建てられた5階建て、五箇山最大の合掌造り家屋で釘を全く使用していない内部構造の様子、道具、現当主の話をお聴きしました。



岩瀬家住宅

国民宿舎 五箇山荘（宿泊）
地元有志の方の日本最古の民謡、こきりこ節の唄と踊りを愉しみながら、岩魚料理を始めとする地元料理を堪能しました。

（11月9日）

流刑小屋 江戸時代の加賀藩の政治犯が収容されていた小屋で外部とは食事を入れる所があるだけで政治犯1人が寝起き食事をするだけのスペースがあります。暗く湿気があり当時の政治犯の生活振りが思いはせられます。

（昭和40年に復元されたものです）

菅沼集落 世界遺産合掌造り集落、9棟の合掌造りがあります。



紅葉の菅沼集落

五箇山民俗館 当時の生活ぶりが偲ばれる生活道具、資料が展示してあります。
（当時は外部との交流がやり難い陸の孤島と考えられた所ですが文化の香りがする資料が沢山ありました。）

煙硝の館 煙硝作りの装置、資料があります。
当地の説明では人間の小便はふりかけないそうです。（日本民家園説明との違い）

野原家 42人の仲間全員が野原家の座敷に上げて頂き、作りたてで最高に

旨い栃餅や茶菓子をご馳走頂きながら先代当主夫人より45年前に結婚した時の野原家の生活振り、近所の話をお聴きしました。



立派な仏壇がある野原家座敷

相倉合掌造り集落(宿泊、分宿)
世界遺産合掌造り集落、20棟の合掌造りがあります。

囲炉裏で時間を掛けて炙った岩魚の骨酒や地元料理を堪能しながらの当主の茅葺作り、屋根葺き、冬の雪掻きの話を聴き、仲間と夜遅くまで会話を愉oshimimashita。

(11月10日)

相倉集落での紅葉真っ盛りの散策を愉しみ、最高の時間を過ごしました。

江向家跡地 すぐ横に高岡までの国道156号線があり多くの車が走行して当時の名残が余りありませんでしたが、近所の数名の方が出て来られ江向家の玄関場所、間取り等親切に教えて頂き、当時の生活振りが偲ばれました。



江向家跡地

白川郷萩町 世界遺産合掌造り
中国人を始めとする多くの外国の方が往来されており、土産店も多く静かな五箇山と「対照的」でした。

「*今研修には五箇山が所在する南砺市より研修助成金として参加者一人当たり3千円の助成金と南砺市の職員の方が道中不都合が無い様に付き添う等格別のご配慮を頂きました。心から感謝とお礼を申し上げます。」

(編集委員 9期 金曜 鍛冶)